第1号議案

令和4年度事業報告並びに収支決算の承認について

事業報告総論

1. 総括

令和4年は、急減な円安やウクライナ戦争により生じた燃料費及び穀物の高騰が、畜産経営の生産費を押し上げ、特に酪農経営の収益を悪化させており、国や県が飼料高騰対策や経産牛淘汰対策など、酪農経営の収益改善を試みているが、県内でも複数の農家が離農予定であるなど酪農経営の厳しい状況が続いている。

肉用牛経営では、令和4年8月頃から枝肉価格が低下し、コロナの影響や飼料高騰の影響などで各県で牛マルキンの発動が続いている厳しい状況ではあったが、5年に1度開催される第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会で、福井県は初めて第8部の肥育去勢部門に参加し、福井県ブランド「若狭牛」のPRや県内農畜産物などのPRなどを行った。

こうした畜産を巡る情勢の中、本協会は、畜産関連業界・団体と行政の連携・調整役として重要な役割を担い、国、県、中央団体の補助事業を補完する団体として経営診断、価格補填、畜産クラスター事業、楽酪事業の窓口団体等、経営技術の効率的、効果的な支援事業により県内生産者の経営改善と基盤強化に取り組んだ。

特に、牛マルキンによる肥育農家への所得補填は、農家の経営安定に寄与したほか、畜産関連の機械導入を行う畜産クラスター事業や楽酪事業の実施により、畜産経営者へのセーフティネット構築や畜産経営者の新たな取り組みへの支援を実施した。

衛生指導事業では、高度化する生産体制の確立と、高品質な畜産物生産を確保するため、牛、豚、鶏に対する自衛防疫事業を強化するとともに、鳥インフルエンザの発生防止にも努めた。

家畜改良事業では、牛群検定、家畜登録および優良精液の利用推進を図り、乳用牛の改良と若狭牛の効率的生産に努めた。

また、福井県では、県営牧場でのふれあい体験学習を展開しており、協会も積極的に事業参加して消費拡大と畜産への理解推進を図った。

2. 総会等の開催状況及び組織

1) 総 会

開催年月日	議案とその議決事項
令和4年6月 定時総会 (令和4年6月27日)	第1号議案 令和3年度事業報告並びに収支決算の承認について
第69回通常総会 (令和5年3月27日)	第1号議案 令和4年度収支予算の補正について 第2号議案 令和5年度事業計画及び収支予算計画について 第3号議案 賦課金等の金額および賦課方法・徴収時期について 第4号議案 借入金の最高限度額および借入先について 第5号議案 定款の一部改正について

2) 理 事 会

開催年月日	議題とその議決事項
令和4年6月 理事会 (令和4年6月15日)	1. 令和4年6月定時総会の開催日程等について 2. 令和4年6月定時総会提出議案の審議について
令和5年3月 理事会 (令和5年3月7日)	1. 第69回通常総会の開催日程等について 2. 第69回通常総会提出議案の審議について

3) 監事会

開催年月日	議案とその議決事項
令和4年5月 (令和4年5月20日)	1. 令和3年度における事業実施状況・会計決算についての 監査

4) 組 織

(1) 会 員

ア. 正 会 員

	年度始 現在数	本年度 増加数	本年度 減少数	年度末 現在数	備 考
各 J A	2			2	県下10JA合併
J A福井県中央会	1			1	
J A福井県信連	1			1	
J A福井県経済連	1			1	
全共連福井県本部	1			1	
各市町	0			0	
畜産団体	7			7	農業共済組合 県肉用牛協会 県養鶏協会 県獣医師会 県家畜改良協会 県酪農農協連 県和牛生産振興会
福井県	1			1	
合 計	14	0	0	14	

イ. 準会員

なし

(2) 機 構

ア. 役 員

(R 5 . 3 . 3 1 現在)

役職名	氏 名	所属・役職名
会長理事	富田 勇一	J A福井県中央会・会長
理 事	寺井 敏高 岡田 高大 宮田 幸一 坂田 和洋 瓦 惣一 高木 平光	J A福井県・代表理事副組合長 J A福井県・理事（奥越地区） J A福井県・代表理事副組合長 福井県農業共済組合・専務理事 福井県和牛生産振興会・会長 福井県獣医師会・会長
代表監事	西尾 宗雄	J A福井県・理事（福井地区）
監 事	牧野 正男	J A福井県・代表理事副組合長

イ. 職 員

職 名	年度始 人員	本年度中の移動		年度末 人員	備 考	
		任用	解任			
一 般 職 員	事 務 局 長 (総括畜産コンサルタント)	1	0	0	1	
	畜産コンサルタント	2	0	0	2	
	事 務 職 員	1	0	0	1	
計	4	0	0	4		

実施事業

1 畜産振興に関する事業

本事業は、県内畜産農家が、消費者へ継続的かつ安定的に畜産物を供給できるようにするために、畜産農家の生産技術向上及び経営技術習得を指導する事業であり、下記の事業を実施した。

1) 畜産農家の生産技術向上に対する事業で、家畜の改良や改良に必要な情報収集を実施する事業

(1) 家畜改良繁殖推進事業【福井県補助事業:626,000 円】

乳用雌牛群の効率的かつ総合的な能力検定の推進により、優良乳用雌牛群の選抜確保と能力に応じた利用および効率的な飼育管理ならびに検定済種雄牛の計画的増頭を図るため、乳用雌牛の飼育農家を対象に検定雄牛および後代検定材料牛の検定の実施、記録の収集ならびに検定成績による指導を14戸483頭実施した。

(2) 家畜改良繁殖推進事業【福井県委託事業:162,000 円】

乳用牛群検定の普及定着及び後代検定による乳用牛の能力向上を図るため、全国の牛群情報を収集すると共に、データーを集計分析し、農家指導等県段階の事業推進に努めた。

(3) 乳用種雄牛後代検定事業【家畜改良事業団委託事業:23,056 円】

後代検定事業推進のため調整交配の促進、後代検定娘牛受胎奨励に努めた。

2) 畜産農家の経営診断および改善指導、消費者に対する畜産物の情報提供により畜産振興を図る事業

(1) 畜産経営技術指導事業【地方競馬全国協会補助事業:9,268,000 円】

畜産経営の支援体制、地域畜産の活性化、安全かつ安定的な食の供給に資するための体制、馬事普及啓発の推進体制の強化と地域での畜産振興を図った。

(2) 畜産経営技術高度化支援指導事業【福井県補助事業:890,000 円】

畜産をめぐる情勢の変化に対応し、経営感覚に優れた生産性の高い畜産経営体を早急に育成するために、畜産農家同士の切磋琢磨のなかで、自ら経営改善に取り組む意欲・努力を助長するとともに、指導体制および指導手段・内容の充実を図ることにより、畜産農家の経営技術の高度化に対する支援・指導を総合的に実施した。

(1) 畜産農家に対する経営技術高度化指導(個別指導)

①先進経営育成のための集合研修	6回
②経営計画の作成指導	19回
③経営改善のためのフォローアップ指導	21回
④生産技術の改善指導	18回

(3) 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業(機械導入)【中央畜産会委託事業:347,450 円】

地域の畜産関係者が有機的に連携し、地域ぐるみで収益性を向上させる畜産クラスター計画の中心的な経営体に対し、収益力の強化等に必要な機械のリース導入について、事業実施手続き等の効率化および事業実施体制の強化を図った。

(4) 酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業【中央畜産会委託事業:124,084 円】

酪農経営における働き方改革の実現を一層加速化するため、酪農家による省力化機械装置の導入と一体的な施設の整備に対する支援する事業において、県内での円滑な推進を図った。

(5) 畜産経営体生産性向上対策事業(ICT化等機械装置等導入事業)【中央畜産会委託事業:132,267 円】

酪農家や肉用牛農家に対して、省力化(労働負担軽減)・生産性向上を図ることを目的に ICT 化等の新技術を活用した機械装置のリースによる導入を支援する事業において、県内での円滑な推進を図った。

(6) 地域畜産支援指導等体制強化事業【中央畜産会委託事業:2,165,308 円】

現下の畜産をめぐる厳しい内外環境に対処するため、畜産行政との緊密な連携のもと畜産関係団体の連携及び活性化を図り、畜産経営者等からの各種相談に応じる畜産経営相談窓口となり、支援を行うことにより畜産振興を図った。

2 畜産経営の安定のための価格差補填金の交付に関する事業

本事業は、県内肥育牛生産者が、安定的に経営を継続していけるように販売した肉用牛に対する価格差補てんをする事業であり、下記の事業を実施した。

(1) 肉用牛肥育経営安定交付金制度

畜産経営の安定に関する法律(昭和36年法律第183号)に基づき、標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合に、その差額の9割を交付金として交付することで、肉用牛肥育経営の安定を図った。なお、当協会は農林水産大臣が指定する積立金管理者として、負担金を適切に管理した。

(ア) 令和5年3月31日現在 契約戸数:22戸

(イ) 肉用牛交付金交付実績

(単位:人、頭、円)

区 分	品種区分	交付対象		交付金額	うち機構交付金	うち積立金
		人数	頭数			
合 計	肉 専 用 種	9	34	1,567,458	1,175,589	391,869
	交 雑 種	43	212	4,243,575	3,182,664	1,060,911
	乳 用 種	6	12	503,883	377,910	125,973
	小 計	58	258	6,314,916	4,736,163	1,578,753

(2)肉用牛肥育経営安定交付金制度業務委託事業【農畜産業振興機構委託:5,537,858 円】

肉用牛肥育経営安定交付金制度に係る業務を、円滑に実施した。なお、標記制度委託要綱第 4 に基づき、事務の一部を下記の事務委託先へ委託して実施した。

福井県農業協同組合、福井県経済農業協同組合連合会、北陸配合飼料価格安定基金協会

3 家畜の伝染性疾病の予防、生産衛生に関する事業

安全安心な畜産物を生産・提供するための家畜疾病予防対策や家畜衛生指導を行った。

(1)家畜防疫互助基金支援事業【農畜産業振興機構補助事業:131,028 円】

口蹄疫、豚コレラ等の悪性伝染病が発生した場合に備え、生産者等が損失を互助補償するための仕組みについて、その趣旨、事業の内容等の周知徹底に努め、家畜防疫互助事業への加入を推進した。

(2)獣医師養成確保修学資金給付事業【国庫補助事業:118,197 円】

令和4年度福井県獣医師確保修学資金給付者選考委員会(令和4年6月13日)において1名の修学生候補者の選考を実施した。(給付者からの辞退届により、給付はなし。)

4 その他の事業

1)乳牛及び和牛の改良を推進するために、家畜改良事業団の精液取扱窓口団体として凍結精液の販売を行う事業

県内の乳牛・和牛の種畜改良および生産性の向上を図るために、(一社)家畜改良事業団等の精液取扱窓口団体として、酪農家及び和牛繁殖農家等に牛の凍結精液を販売した。

(1)精液等取扱事業【独自事業:8,557,450 円】

精液配布本数 乳用牛 509 本 和牛 620 本 後代検定 84 本

液体窒素配布 県内 5ヶ所おおむね 40 日間隔で年 9 回補給した。

2)家畜改良の促進を図るために、家畜の登録事業を行う事業

家畜の改良増殖、生産効率向上のため、県内の酪農家で生まれた子牛の遺伝的な情報を登録し、近親交配・遺伝的不良形質をもった牛の生産を回避するための家畜登録を推進した。

(1)家畜登録事業【独自事業:847,700 円】

自動登録 116 頭 血統登録 9 頭

遺伝子型検査 40 頭 更正 0 頭

自動登録を推進し、登録の普及啓蒙を図った。

3) 県内畜産公共施設での家畜衛生業務や消費者への体験学習業務により、家畜衛生の向上や畜産の普及啓発を図る事業

県内畜産公共施設において、家畜衛生業務の速やかな実行のための業務員配置、消費者の畜産知識の向上を図るための体験ガイド配置および家畜飼養管理等のための業務員配置を行うことにより、家畜衛生および畜産の普及啓発等の向上を図った。

(1)家畜衛生業務委託事業【福井県業務委託事業:3,982,000 円】

牛海綿状脳症(BSE)の湿潤状況および防疫対策を検証するため、死亡牛の適正処理とBSE検査を円滑に行えるよう、死亡牛等の解剖補助・処理の業務を行い、良好な家畜衛生業務及び環境維持に努めた。

(2)ふれあい畜産体験学習等案内業務委託事業【福井県業務委託事業:10,959,300 円】

畜産試験場等の公営畜産施設において業務員を配置し、ふれあい牧場の施設管理、家畜の管理をするとともに、動物とのふれあいや体験学習の案内及び畜産に対する理解醸成に努めた。

体験学習実施 54 団体 2,070 人 見学者対応 32,019 人

(3)畜産試験場家畜飼養管理等業務委託事業【福井県業務委託事業:13,750,000 円】

畜産試験場において業務員を配置し、家畜の飼養管理等を行うことで、試験研究等の業務補助に努めた。

4) 畜産振興に係る技術指導等

消費者と家畜とのふれあいを図るため、放牧管理やハウス養豚の技術支援や、畜産物の消費拡大イベントの共催、地方競馬のPR等を実施し、畜産の振興を図った。

(1)畜産関連書籍等取扱事業【独自事業:47,700 円】

中央畜産会の発行する出版物を斡旋し、畜産生産者・関係者への的確な情報提供を行った。

(2)消費拡大事業【独自事業:856,047 円】

県内畜産物の消費を拡大するため、県や農業団体のイベント等に参加し、畜産物の配布や PR を実施した。

(3)地域活性化応援事業【独自事業:1,547,704 円】

放牧指導の継続、ハウス養豚への支援指導及び外部講師によるWEBセミナーの実施により地域畜産の振興に努めた。

また、令和 4 年 10 月に鹿児島県で開催された「全国和牛能力共進会」において福井県経済連とともに若狭牛の知名度向上に努めた。

(4)地方競馬支援対策事業【独自事業:149,176 円】

県内公共牧場や県の主催するイベントにおいて、地方競馬のポスターやパンフレットを配布し、地方競馬のPRを実施した。

一般指導および畜産振興にかかる諸事業

関係機関・団体との緊密な連携のもとに、必要に即し畜産経営指導および経営能力向上等の指導に努めるとともに、各畜産共進会等への協力と優秀入賞家畜飼養者に対する褒賞等を行い、畜産農家の生産技術と意欲の高揚促進に努めた。

また、各関係機関・団体等における各畜産振興事業に対し積極的に協力するとともに、本県畜産の安定的発展に努めた。

(各畜産共進会等に対する褒賞状況)

共進会名	開催年月日	褒賞
第 29 回福井県肉牛枝肉共励会	令和 4 年 12 月 5 日	賞状および副賞

貸借対照表

令和5年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	6,242,268	3,711,570	2,530,698
未収金	7,459,136	9,800,547	△ 2,341,411
前払費用	59,230	199,400	△ 140,170
流動資産合計	13,760,634	13,711,517	49,117
2. 固定資産			
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	33,800,000	32,300,000	1,500,000
肥育安定基金預金	11,445,521	15,774,151	△ 4,328,630
特定資産合計	45,245,521	48,074,151	△ 2,828,630
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	45,245,521	48,074,151	△ 2,828,630
資産合計	59,006,155	61,785,668	△ 2,779,513
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	4,827,546	5,440,571	△ 613,025
前受金	355,162	0	355,162
預り金	357,807	313,376	44,431
未払消費税等	1,719,981	1,572,559	147,422
流動負債合計	7,260,496	7,326,506	△ 66,010
2. 固定負債			
退職給付引当金	33,800,000	32,300,000	1,500,000
肥育安定基金	11,445,521	15,774,151	△ 4,328,630
固定負債合計	45,245,521	48,074,151	△ 2,828,630
負債合計	52,506,017	55,400,657	△ 2,894,640
III 正味財産の部			
1. 基金			
基金	0	0	0
2. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
3. 一般正味財産			
(1) 代替基金	0	0	0
(2) その他一般正味財産	6,500,138	6,385,011	115,127
一般正味財産合計	6,500,138	6,385,011	115,127
(うち特定資産への充当額)			
正味財産合計	6,500,138	6,385,011	115,127
負債及び正味財産合計	59,006,155	61,785,668	△ 2,779,513

正味財産増減計算書

令和4年 4月 1日から令和5年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
賦 課 金	3,743,500	3,911,900	△ 168,400
賦 課 金	3,743,500	3,911,900	△ 168,400
事 業 収 益	9,405,150	10,263,260	△ 858,110
家 畜 登 録 事 業 収 益	847,700	700,960	146,740
精 液 取 扱 事 業 収 益	8,557,450	9,562,300	△ 1,004,850
受 取 補 助 金 等	48,654,870	46,370,192	2,284,678
獣 医 師 養 成 確 保 修 学 資 金 給 付 事 業 費	118,197	0	118,197
家 畜 改 良 繁 殖 推 進 事 業 (補 助 金)	626,000	626,000	0
畜 産 経 営 技 術 高 度 化 支 援 指 導 事 業 費	890,000	890,000	0
畜 産 経 営 技 術 指 導 事 業	9,268,000	6,902,000	2,366,000
家 畜 改 良 事 業 団 補 助 金 (奨 励 金)	237,462	280,004	△ 42,542
日 本 ホ ル ス タ イ ン 登 録 協 会 補 助 金 (還 元 金)	200,860	182,220	18,640
家 畜 衛 生 業 務 委 託 事 業 費	3,982,000	3,905,000	77,000
家 畜 改 良 繁 殖 推 進 事 業 費 (委 託)	162,000	162,000	0
ふ れ あ い 畜 産 体 験 学 習 等 案 内 業 務 委 託 事 業 費	10,959,300	10,982,400	△ 23,100
畜 産 試 験 場 家 畜 飼 養 管 理 等 業 務 委 託 事 業 費	13,750,000	13,640,000	110,000
肉 用 牛 肥 育 経 営 安 定 交 付 金 制 度 業 務 委 託 事 業	5,537,858	5,299,414	238,444
家 畜 防 疫 互 助 基 金 支 援 事 業 費	131,028	117,884	13,144
畜 産 ・ 酪 農 収 益 力 強 化 整 備 等 特 別 対 策 事 業 費	347,450	355,387	△ 7,937
酪 農 労 働 省 力 化 推 進 施 設 等 緊 急 整 備 対 策 事 業	124,084	112,111	11,973
畜 産 経 営 体 生 産 性 向 上 対 策 事 業	132,267	130,051	2,216
畜 産 関 係 団 体 調 整 機 能 強 化 事 業 費	0	1,603,355	△ 1,603,355
地 域 畜 産 支 援 指 導 等 体 制 強 化 事 業 費	2,165,308	0	2,165,308
肥 育 牛 経 営 等 緊 急 支 援 特 別 対 策 事 業 (肥 育 生	0	430,486	△ 430,486
肥 育 牛 経 営 改 善 等 緊 急 対 策 事 業 (肥 育 牛 経 営	0	659,830	△ 659,830
乳 用 種 雄 牛 後 代 検 定 事 業 費	23,056	26,556	△ 3,500
乳 用 牛 改 良 増 殖 推 進 事 業 委 託 事 業 費	0	24,000	△ 24,000
日 本 家 畜 人 工 授 精 師 協 会 委 託 事 業 費	0	41,494	△ 41,494
受 取 負 担 金	2,229,912	2,264,217	△ 34,305
牛 群 検 定 賦 課 金	2,229,912	2,264,217	△ 34,305
受 取 手 数 料	1,057,100	1,115,400	△ 58,300
受 取 協 会 事 務 手 数 料	1,057,100	1,115,400	△ 58,300
雑 収 益	210,576	252,082	△ 41,506
受 取 利 息	642	606	36
雑 収 益	209,934	251,476	△ 41,542
指 定 正 味 財 産 か ら の 振 替 額	1,578,753	2,523,414	△ 944,661
経常収益計	66,879,861	66,700,465	179,396
(2) 経常費用			
事 業 費	60,139,480	61,347,576	△ 1,208,096
給 料 手 当	19,242,400	18,370,513	871,887
臨 時 雇 賃 金	930,000	1,767,240	△ 837,240
退 職 給 付 費 用	1,500,000	2,500,000	△ 1,000,000
法 定 福 利 費	3,062,885	2,929,248	133,637
旅 費 交 通 費	590,143	648,508	△ 58,365
通 信 運 搬 費	969,184	989,379	△ 20,195
事 務 消 耗 品 費	285,242	427,766	△ 142,524
印 刷 製 本 費	27,745	63,811	△ 36,066
賃 借 料	419,750	292,440	127,310
保 険 料	97,760	105,070	△ 7,310
諸 謝 金	0	14,000	△ 14,000
租 税 公 課	925,622	734,192	191,430

科 目	当年度	前年度	増 減
支 払 負 担 金	848,184	3,030,114	△ 2,181,930
家 畜 登 録 事 業 費	771,910	630,010	141,900
精 液 取 扱 事 業 費	7,242,873	7,985,094	△ 742,221
支 払 助 成 金	1,578,753	2,523,414	△ 944,661
委 託 費	20,702,140	18,064,180	2,637,960
雑 費	944,889	272,597	672,292
管 理 費	6,616,254	5,237,988	1,378,266
給 料 手 当	111,048	104,572	6,476
臨 時 雇 賃 金	0	12,000	△ 12,000
法 定 福 利 費	19,457	20,017	△ 560
会 議 費	304,534	302,783	1,751
旅 費 交 通 費	68,003	3,927	64,076
通 信 運 搬 費	28,938	72,213	△ 43,275
事 務 消 耗 品 費	7,473	32,887	△ 25,414
印 刷 製 本 費	1,782	4,844	△ 3,062
賃 借 料 費	65,675	106,535	△ 40,860
事 務 所 費	2,056,295	2,304,605	△ 248,310
慶 弔 費	31,000	20,000	11,000
租 税 公 課	967,100	313,400	653,700
支 払 負 担 金	1,821,550	822,550	999,000
雑 費	1,133,399	1,117,655	15,744
畜 産 振 興 費	9,000	9,000	0
畜 産 振 興 費	9,000	9,000	0
経常費用計	66,764,734	66,594,564	170,170
評価損益等調整前当期経常増減額	115,127	105,901	9,226
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	115,127	105,901	9,226
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
指定正味財産からの振替額	15,686,877	0	15,686,877
経常外収益計	15,686,877	0	15,686,877
(2) 経常外費用			
返 戻 金	15,686,877	0	15,686,877
肥 育 安 定 基 金	15,686,877	0	15,686,877
経常外費用計	15,686,877	0	15,686,877
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	115,127	105,901	9,226
一般正味財産期首残高	6,385,011	6,279,110	105,901
一般正味財産期末残高	6,500,138	6,385,011	115,127
II 指定正味財産増減の部			0
受 取 積 立 金	12,937,000	8,755,835	4,181,165
生 産 者 積 立 金	12,937,000	8,755,835	4,181,165
基 金 取 崩 額	17,265,630	2,523,414	14,742,216
基 金 繰 入 額	12,937,000	8,755,835	4,181,165
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△ 17,265,630	△ 2,523,414	△ 14,742,216
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 基金増減の部			
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	0	0	0
基金期末残高	0	0	0
IV 正味財産期末残高	6,500,138	6,385,011	115,127

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

退職給付引当金は、期末退職給与の要支給債務額に相当する金額を計上している。

(2) リース取引の処理方法

リース取引の処理方法は、通常の賃貸借処理取引に係る方法に準じた会計処理による。

(3) 消費税等の会計処理

税込方式で計上している。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
小 計	0	0	0	0
特定資産				
退職給付引当資産	32,300,000	1,500,000	0	33,800,000
肥育安定基金預金	15,774,151	12,937,000	17,265,630	11,445,521
小 計	48,074,151	14,437,000	17,265,630	45,245,521
合 計	48,074,151	14,437,000	17,265,630	45,245,521

3 基本財産及び特定資産の財源の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち基金からの充当額)	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産					
小 計	0	0	0	0	0
特定資産					
退職給付引当資産	33,800,000				33,800,000
肥育安定基金預金	11,445,521				11,445,521
小 計	45,245,521	0	0	0	45,245,521
合 計	45,245,521	0	0	0	45,245,521

4 担保にしている資産 なし

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
獣医師養成確保修学資金給付事業	農林水産省	0	118,197	118,197	0	
家畜改良繁殖推進事業	福井県	0	626,000	626,000	0	
畜産経営技術高度化支援指導事業	福井県	0	890,000	890,000	0	
畜産経営技術指導事業	地方競馬全国協会	0	9,268,000	9,268,000	0	
合 計		0	10,902,197	10,902,197	0	

6 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
肥育牛補填金支払に係る振替額	1,578,753
経常外収益への振替額	
肥育安定基金戻戻金	15,686,877
合 計	17,265,630